

平成28年度 実施状況の概要

基本目標1 地方における安定した雇用を創出する

【数値目標】企業誘致数 0件 (H26) ⇒ 0件 (H28) ⇒ 3件 (H31)

● 主な施策の平成28年度の実施状況

具体的な施策

①町独自のブランド品のPR・開発

○農産物等ブランド化推進事業

- ・ブランド化のモデルとして、H27、H28年度に「押水いちじく」の新たな販路開拓を実施。

- ①朝採れいちじくを売りとして、金沢のスーパーで直接販売を実施。
- ②半生で新しい食感の「ドライいちじく」の開発。



朝採れいちじくの直接販売

【今後の取り組み】

- ・H29年度中に運用開始予定。
- ・この取り組みをモデルとして、今後のブランド化支援を実施する予定。

具体的な施策

②起業・創業支援の推進

○起業・創業バックアップ事業

- ・町内で起業・創業したい方が様々な支援を受けられるよう「町創業支援事業計画」を策定。
- ・町と商工会の共催による「宝達志水町創業塾2016」を開催。
(計4回、受講者10名)



宝達志水町創業塾2016

【今後の取組】

- ・町と創業支援事業者（商工会・金融機関等）が情報を共有し、それぞれのサポートにより起業・創業を支援。
- ・町独自の創業補助金の策定を検討する。

○宝たちビジネスアカデミー事業

- ・町内5小学校から計4チーム（20名）が参加。
- ・町文化祭（11/3）で販売実践、全チーム完売を達成。
- ・まとめセミナー（決算発表会）修了式を行い、収支決算報告、会社の解散を行った。



販売実践の様子

【今後の取組】

- ・子供達と地域とのつながりが持てるような連携（地域産品を活用した商品開発等）に取り組む。

具体的な施策

③企業誘致の推進

○宝の土地活用推進事業

- ・「今浜東部用地」と「柳瀬第二工場適地」の2箇所の町有地を指定する規則改正を実施。
- ・次年度に向けて、北陸フォーラムを視察。

今浜東部用地
(押水バイパス沿い)

【今後の取組】

- ・企業誘致に係る情報を町民も含め効果的かつ多面的に周知する。

○ベンチャーサークル支援事業

- ・企業誘致に活用できる空き公共施設等の調査方法等を検討。

【今後の取組】

- ・経費等を調査し、方針を検討する。

● KPI の状況

・農産物等のブランド化取り組み件数	一件 (H26)	⇒	0件 (H28)	⇒	3件 (H31)
・起業相談者件数	一件 (H26)	⇒	10件 (H28)	⇒	20件 (H31)
・起業相談による企業者数	一件 (H26)	⇒	0件 (H28)	⇒	2件 (H31)
・小学生等への起業体験事業実施回数	一回 (H26)	⇒	1回 (H28)	⇒	3回 (H31)
・企業誘致件数	一件 (H26)	⇒	0件 (H28)	⇒	3件 (H31)

平成28年度 実施状況の概要

基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる

【数値目標】社会増減数 △80人 (H26) ⇒ △77人 (H28) ⇒ △60人 (H31)

● 主な施策の平成28年度の実施状況

具体的な施策

①居住環境の整備

○民間賃貸住宅建設補助事業

・ 今浜地内において1件の申請があり補助金を交付（補助金額5,000千円）。



今浜地内の民間賃貸住宅

【今後の取り組み】

・ 件数が多い場合は補正対応とする。

○宝の住まいる応援事業

・ 民間賃貸住宅の家賃補助について、町内の民間賃貸住宅3棟の所有者に事業説明を実施（申請件数：1件）。

・ 新築住宅等奨励金の交付。（申請件数：26件（町外15件、町内11件））

【今後の取り組み】

・ 民間賃貸住宅建設補助事業と連携した事業展開（PRの促進等）。

具体的な施策

②町外通勤者への支援

○若者通勤サポート事業

・ 制度周知（広報、ホームページ、フェイスブック、駅前駐車場利用者宛て、成人式でのチラシ配布、回覧等）の促進。

・ 補助金申請は年2回に分けて行い、年額2万円を支給した（申請件数：40人・述べ56件）。

【今後の取り組み】

・ 補助制度の周知に努める。

・ H29年度は年1回の申請とするよう改める。

具体的な施策

③交流人口の拡大

○宝のなぎさ交流促進事業

・ 公募型プロポーザル方式による募集を行った（参加表明1者）。



今浜海岸の千里浜景観用地

【今後の取り組み】

・ 選考委員会を開催し、提案内容の妥当性を評価する。

○四季の宝達PR事業

・ 宝達山頂トイレ、山頂公園駐車場の整備等による宝達山への誘客。

・ 千里浜なぎさドライブウェイ（日本のビーチ第1位）を活用したPRの実施。

【今後の取り組み】

・ 観光資源の四季折々の映像作成。

・ メディアやSNS、県内外イベント等を活用し、町の魅力をPRする。

具体的な施策

④地域ブランドの確立

○宝のまちブランド推進事業

・ 現状のヒト・コト・モノの情報収集。

・ ブランディング戦略の立案。

・ プロモーション開始時のコンテンツ制作。

・ 定住ガイドブックの制作（宝達志水のほー！）。

【今後の取り組み】

・ メディアやWEB媒体を使った町民向けのプロモーションの実施。

・ 町民参加型のワークショップの実施。



定住ガイドブック「宝達志水のほー！」

● KPIの状況

・ 民間賃貸住宅建築件数	一件 (H26)	⇒	1件 (H28)	⇒	5件 (H31)
・ 町外からの転入世帯数	15件 (H26)	⇒	15件 (H28)	⇒	20件 (H31)
・ 30歳未満の対前年度転出者割合	59.9% (H26)	⇒	63.1% (H28)	⇒	49.9% (H31)
・ 観光客入込客数	180,363人 (H26)	⇒	223,397人 (H28)	⇒	185,000人 (H31)
・ ブランド力の数値化回数	一回 (H26)	⇒	0回 (H28)	⇒	1回 (H31)

平成28年度 実施状況の概要

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】合計特殊出生率 1.36 (H27) ⇒ — (H28) ⇒ 1.50 (H31)

● 主な施策の平成28年度の実施状況

①子どもの育成支援の充実

○宝たち成長祝い事業

- ・子どもの成長に合わせた祝金について、対象者へ12月に申請案内し、申請受付後3月に祝金を交付した（6歳：3万円、12歳：5万円、15歳：7万円、18歳：10万円）。

（参考）H28年度の成長祝金実績

	6歳	12歳	15歳	18歳	合計
対象人数	72人	125人	132人	144人	473人
交付額	216万円	625万円	924万円	1440万円	3205万円

・平成28年4月1日以降の出産に対して、祝金を交付した（町ポイントカード会加盟店で利用できる商品券を交付・第1子：5万円分、第2子以降：10万円分）。

・出産祝金の商品券は有効期限があるため、期限の注意喚起に合わせてアンケートを実施。

（参考）H28年度の出産祝金実績

	第1子	第2子以降	合計
対象件数	21件	33件	54件
交付額	105万円	330万円	435万円

【今後の取り組み】

- ・引き続き、出産祝金（商品券）の期限の注意喚起に合わせたアンケートを実施し、ニーズの把握に努める。

②結婚支援の充実

○宝の縁むすび事業

- ・結婚アドバイザーの委嘱及び情報交換会の開催（2回）。
- ・結婚アドバイザーと結婚相談登録者との面談を6回実施。
- ・見合いをした結婚相談登録者4名。うち交際が継続している方は2名。

（参考）結婚相談登録者及び結婚アドバイザーの人数

	男性	女性	合計
結婚相談登録者	6人	0人	6人
結婚アドバイザー	3人	3人	6人



オムライス町グルメまつり (H29.3.19) による婚活ブースの様子

【今後の取り組み】

- ・男女の交流を目的としたイベントを実施する団体に補助金（上限20万円）を交付する。
- ・上記補助金によるイベントや結婚アドバイザーによるマッチングで成婚し町に定住した方に祝金（町ポイントカード会加盟店で利用できる商品券：10万円分）を交付する。

③教育環境の充実

○宝たち検定チャレンジ事業

- ・英語検定、漢字検定、数学（算数）検定、理科検定に係る検定料の半額を補助した（申請件数：115件）。
- ・中学生については、233名の生徒が何らかの検定を受験しているが補助金申請にまで至らない保護者が多かった。

（参考）中学生検定別受験実績（※述べ人数）

英語	漢字	数学	理科	合計
181人	190人	116人	0人	487人

（参考）中学校生徒数・検定受験者数・補助金申請件数

中学校生徒数	検定受験者数	補助金申請件数
372人	233人	115人

【今後の取り組み】

- ・児童・生徒の学習意欲を引き出し、学力向上につながるよう、1人1回の補助ではなく、全ての検定に申請ができるよう検討する。
- ・町で到達目標級を定め、合格者の検定料を無料化するよう検討する。

● KPI の状況

・出生数	68人 (H26)	⇒	61人 (H28)	⇒	90人/年 (H31)
・結婚相談による婚姻数	一件 (H26)	⇒	0件 (H28)	⇒	1件/年 (H31)
・中学校生徒の各検定受験率	—% (H26)	⇒	62.6% (H28)	⇒	50% (H31)

平成28年度 実施状況の概要

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

【数値目標】 住みよさ率 71.1% (H27) ⇒ — % (H28) ⇒ 75.0% (H31)

● 主な施策の平成28年度の実施状況

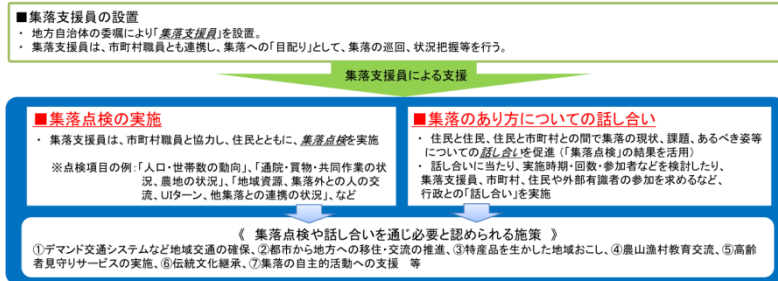
具体的
な施策

① 集落間の交流促進

○ 地域行事サポート事業

- ・「北志雄地区(※)」をモデル地区として選定し、関係区長により県内で集落支援員が活躍する珠洲市の視察研修を実施し、集落支援員の取り組みについて理解を深めた。
- ・北志雄地区の区長1名を集落支援員(兼任)に選任する。

(※) 北志雄地区…石坂区(29世帯)、向瀬区(31世帯)、走入区(34世帯)、清水原区(3世帯)、見砂区(9世帯)



積極的に実施
(参考) 集落支援員制度の概要(出典: 総務省HP)

【今後の取り組み】

- ・ 集落支援員として、地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有する人材の育成及び地域間交流を今後どのように進めていくかが課題となっている。
- ・ 集落間交流を試験的に実施するため、モデル地区である北志雄地区内の集落間での協働による道路・河川愛護作業等の実施を検討する。

具体的
な施策

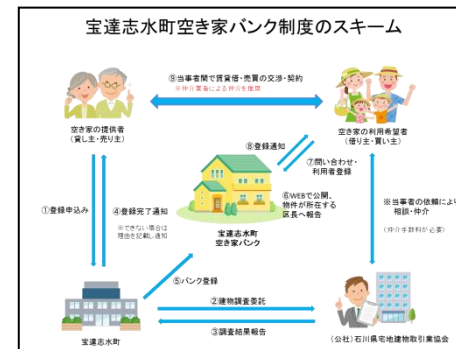
② 空き家・空き土地対策

○ 空き家・空き土地バンク事業

- ・「空き家バンク制度」と「空き家改修等助成金制度」を平成28年8月1日から実施した。
- ・ 広報や町ホームページを通じて制度の周知を図った。
- ・ 空き家バンクへの登録件数は2件あり、2件ともに賃貸借契約が成立し、空き家改修等助成金を活用している。



倒壊の恐れがある空き家(出典: 国土交通省HP)



空き家バンク制度のスキーム

【今後の取り組み】

- ・「空き家バンク制度」及び「空き家改修等助成金制度」は、町内外への制度周知の促進と地元住民と町の協働による利用登録者及び登録物件の増加を図る。
- ・「空き土地バンク事業」は、他自治体の事例を検証し、制度を構築できるよう検討する。

● KPI の状況

・ ボランティア参加者数	一人 (H26)	⇒	0人 (H28)	⇒	10人/年 (H31)
・ 空き家・空き土地バンク利用による移住者数	一人 (H26)	⇒	7人 (H28)	⇒	1人/年 (H31)